

## 第4回 菊川市子ども・わかもの参画協議会議事録（報告書）

日時：9月15日（金）18:00～19:30

場所：プラザきくる3階301会議室

参加委員：16名（小杉晋也、渥美嘉樹、相津悠平、菅野真紀、山下千鶴、財津由記、成島千尋、カトウズブール紗奈、戸塚俊作、平野丈、増田晴夏、磯崎心叶、服部晃範、松下麻衣子、石川公朗、岡田祐三）

事務局：菊川市市民協働センター（笠原活世、鈴木貫司）

アドバイザー：NPO法人わかもののみち 土肥潤也

1. 「菊川市子ども・わかもの参画宣言」について
2. 「菊川市子ども・わかもの参画宣言」修正案の確認
3. 「菊川市子ども・わかもの参画宣言」若者版について
4. 宣言の告知方法の検討
5. わかもののみちサミット2023@菊川について

### 1. 「菊川市子どもわかもの参画宣言」について

#### 笠原（事務局）：

第4回菊川市子ども・わかもの参画協議会を開催し、第3回からの1ヶ月間で皆さんからいただいた意見を検討し、修正案を用意しました。本日はこの宣言の最終決定に進みたいと考えています。また、若者版についても高校生や大学生が検討中で、その前向きな姿勢に元気づけられています。

#### 土肥（アドバイザー）：

本日のトピックは3つあります。まずは菊川市子ども・わかもの参画宣言の最終決定について皆さんのご意見を伺いたいと思います。その後、ここに参加している高校生や大学生が作成中の「子ども・わかもの参画宣言」若者版について共有したいと考えています。最後に、作成したものをどのように広めるかについてのアイデアを皆さんからいただきたいと思います。まず、子どもの参画宣言について事務局から報告をお願いします。

#### 笠原（事務局）：

- ・ 最初に何に参加・参画するのかということが、この間の会議議題に上がっておりました。詳しいことは資料に書いてありますが、「まちづくり」へ参画とすること。まちづくりに関しては、賑わいづくりや活性化だけではないことを注釈に記載する」ということを前文の指針に加えました。
- ・ 前文についてのご意見ということで、前文の「私たちは～」の部分のすぐ後から「」をつけて、主語を「私たち」にするというご意見に関しては反映しました。
- ・ 自己肯定感という言葉について検討がございましたが、自己肯定感という言葉だけではなく、地域への愛着、他者への信頼感。自己肯定感などの表現に変更しました。
- ・ 菊川市在住の住民に響くような文章にした方がいいというご意見がございましたので、この会議が終わった後、パブリックコメントを実施し、市民の意見を取り入れるということを予定しています。
- ・ 私たちはという表現が誰かということがわかりにくいということがありましたけれども、前提として全市民としていることで、表現を「私たち」に統一しました。
- ・ 指針については、指針の主語を具体的に表現した方がいいというご意見がありました。指針①、②-2、③の「私たち」は全ての市民を指すということで、「私たちは」に主語を統一させていただきました。②-1に関しても、声を届けづらい子ども・若者の声を代弁することも大人の役割としているた

め、「私たち」としても大丈夫なのではないかということから全ての指針の主語を統一して表現しました。

- ・ 指針②こども・わかもの声をどこに届けるのか明示した方がいいのではないかとすることで、「まちづくりに反映」という形で修正しました。
- ・ 指針②-1の多様な(全ての\*)という部分の表現が見つらい。という意見については「全ての」を削除し「多様な」のみ表記しました。
- ・ 注釈の表現が差別を引き起こす可能性があり、注釈の( )の部分の削除するという意見は反映し、( )の部分の削除しました。
- ・ 意見を言えないこどもたちへの配慮。意見形成支援の重要性について表現については「意見をすぐに表明できないこども・若者が、安心して意見を言えるよう支援します。」と指針②-2に追記しました。
- ・ 表現の若者への配慮ということで、宣言の若者版を若者の委員のメンバーで協議して、考えていただいた宣言を取り入れていけたらと思っています。

### 岡田（地域支援課）：

- ・ 前回に続いて、市からの提案を述べます。こども・わかもの参画宣言は9月14日に市長、副市長、教育長に案を提示し、ご意見を受けています。地域支援課で対応します。
- ・ 市からの提案として、前文において高校生だけでなく、子育て世代、児童、小学生、中学生、高校生、上の若者世代に対する市の対応を含む宣言をまとめることを決定しました。具体的に、「市内2校の高校と結んだフレンドシップ協定をきっかけに～」の部分の削除し、「高校生」を「こども・若者」と変更しました。
- ・ 表現に「学校、行政、NPO、企業等～」とありましたが、これに「地域」を追加し、「地域・NPO・学校・企業・行政等～」に変更しました。
- ・ 国の法律が頻繁に変わるため、具体的な法条数ではなく「こども基本法に則り」という表現に修正しました。
- ・ 宣言によって、実際に必要な取り組みや要件を整理する必要があるとあり、市全体として取り組むべきことです。したがって、全庁的に協力し、それぞれの立場でできることを整理し、共有する必要があります。
- ・ 市としてできることについて、市役所でも検討中です。皆さんもそれぞれの立場から、できることを考え、共有し、協力できるようにしていただければと思います。
- ・ 今後の取り組みについて、具体的な手法を宣言に含めるかどうかは、実施主体に委ねる方針です。皆さんがそれぞれの立場でできることを考え、共有し、進めていく必要があります。

### 土肥（アドバイザー）：

補足をさせていただきますと、こどもの権利について、前回から権利という言葉を追記しました。こども基本法の理念は子どもの権利に基づいていると考えています。

権利と責任はセットになるという議論もありますが、現在進行中のこども大綱の中間報告には以下のような文章が含まれています。**こども・若者は、未来を担う存在であるとともに、今を生きている存在であり、保護者や社会の支えを受けながら、自立した個人として自己を確立していく意見表明・参画と自己選択・自己決定・自己実現の主体である。つまり、こども・若者は、心身の発達の過程にあっても、乳幼児期から生まれながらに権利の主体である。**

要するに、こども・若者は未来を担う存在だけでなく、今も生きている存在であり、自己を確立して意見表明や自己決定、自己実現をする主体です。また、心身発達の過程においても、乳幼児期から生まれながらに権利を持っているということが記されています。したがって、「義務や責任を果たせないこどもに権利を持たせるな」という主張は誤りであり、それを裏付けるために追記しました。

## 1. 「菊川市子どもわかもの参画宣言」修正案の確認

### 土肥（アドバイザー）：

このまま確定したいと考えていますが、少し時間を取りたいと思います。グループ内で再度検討し、大きな方向転換は難しいですが、微細な修正は可能かもしれません。したがって、グループ内で意見を共有し、ご提案いただければと思います。

### グループ討議

### 土肥（アドバイザー）：

これからグループで出た意見を出していただいて、確認をして行くような形で進めていければと思います。

### グループA：

前文の最初の2文についてですが、「私たちは、『全ての子ども・若者が自分らしく自らの想いを表現し参画できる社会』の実現を目指します。」これはこれから目指しますという宣言に近い文章で、その後子ども・若者は、今の社会を担うパートナーであり、社会を構成する一員です。」という事実が元にあるので、逆にしても意味が通じるという提案がありました。

### 若者委員：

私たちの感覚では、事実を述べたあとに目標を出した方が、目標が分かりやすいんじゃないかと思います。確かに宣言だから、目標を出したのに付随する事実として、納得できるんですけど、普段見る文章や違和感ない形であると、ひっくり返していいんじゃないかなと思いました。

### グループB：

「子ども・若者は、主体的に活動に取り組むことや、意見を表明すること、そして、その意見が反映され周囲や社会が変わることによって、地域への愛着、他者への信頼感、自己肯定感などを得ることができます。」という部分ですが、意見を表明すること、そしてその意見が反映され、周囲や社会が変わることによってその意見が反映されなかったりした場合、地域への愛着他者への信頼感、自己肯定感は得られないのかという話がでるので、「その意見が反映され周囲や社会が変わることによって～」を「その意見を真摯に受け止められ」などの文言に変えるのはどうかという意見がありました。

### 土肥（アドバイザー）：

ありがとうございます。ではここに関して、「意見を表明すること、そして、その意見が真摯に受け止められ、反映され、周囲や社会が変わることによって」という形で加筆することで大丈夫でしょうか。

### 岡田（委員）：

反映を抜いて、「周囲や社会が変わることによって」という表現を「その意見が真摯に受け止められることによって」に変更したらどうでしょうか。

### 土肥（アドバイザー）：

結構大きな変化ですが、これはいかがでしょうか。一番最後にまた聞きますので一旦このように修正することにしましょう。

### 土肥（アドバイザー）

前文はこれで、確定させていただいて、理念のところですけど、理念について何か修正のことやることがありますか。

### グループ C：

一番最後の文章の「まちづくりに参画できる『まち』を目指します。」という表現の「～目指します」ところで切っ飛ばし、「参画します」と言い切るという提案します。理念で、語尾が「目指します」だと希望に希望を重ねてしまっているような感じがして、この辺は言い切っ飛ばしてもいいと思います。

### 岡田（委員）：

「私たちは・・・参画します」という形になると前の理念と主語が入れ替わってしまうので、その部分は確認してもらった方がいいと思います。

### 土肥（アドバイザー）：

「私たちは～参画します」になると文意が変わってしまうので、まちづくりに参画するのはこの宣言だと、子ども・若者が参画するということなので、私たちに子どもも含まれてるんですけど、大人も含まれてしまいますね。これだと結構深読みをしないと分からなくなってしまいます。ただ、ここでの指摘というのは、理念なのに「目指します」と言うと、理念じゃないということですね。

### 岡田（委員）：

指針に合わせて「つくります」にするのはどうでしょうか。

### 土肥（アドバイザー）：

「まちづくりに参画できる『まち』を目指します」を「まちづくりに参画できる『まち』をつくります」に変えるという意見ですね。つくるが2回重なってしまいますが、違和感ありますか。

### 岡田（委員）：

そこまで違和感はないと思います。

### 土肥（アドバイザー）：

ありがとうございます。他に理念についてご指摘がある方はいますか。

### 若者委員：

理念の部分で「その権利」というのが分かりづらいと思います。前文から「子ども・若者が社会に参画する権利」を引っ張ってきいますが、どうしてもそこだけ見ると、どこから引っ張ってきて、「その権利」になるかなってというのが分かりづらいです。「子ども・若者の参画の権利」と言葉を足すという提案をします。

### 土肥（アドバイザー）：

その権利を「子ども・若者の参画の権利」とすると、「子ども・若者の参画の権利が保障され、まちづくりに参画できる「まち」を目指します。」という形で、「参画」が繰り返されるので、少ししつこい感じもしますがどうでしょうか。「まちづくりに参画できるまち」を抜いてしまって、「子ども・わかもの参画の権利が保障されるまちをつくります。」という表現はどうでしょうか。

## 委員（石川）

変えない方がいいと思います。「こども・参画の権利」というのは、「まちづくりに参画できる」というのは同じことをいっているのでは、どちらかにするのがいいと思います。

## 岡田（委員）：

個人的にはそのままがいいと思います。「その権利」というのは、直前の「自分らしく自らの想いを表現し～」という部分にかかり、「その権利」が保障されるって言った文書の作りになっています。少しわかりづらいですが、説明もできるので、そのままがいいと思います。

## 土肥（アドバイザー）：

そちらにかけるのであれば、「自分らしく自らの想い、表現する権利」が保障されるようになりますが、そうすると上とつじつまが合わなくなってくる。理念については重要でもあるので、一度おいておいて指針の議論に移ります。指針①についてご意見がある方いらっしゃいますか。

## 委員（石川）：

指針の①と③が理念と同じようなことを言っているのかなと思います。①と③を削ってしまっていて、指針はあくまでも目標を達成するために、指針②の2つだけを残した方が建付けとしてもっと少しスッキリするのかなというふうに思います。指針①③に入っている言葉を理念に入れて、もう少し濃くすると人に伝わる形になると思います。

## 土肥（アドバイザー）：

大胆な変更ですが、この意見に対して、今まで素案を作ってきた事務方として意見はありますか。

## 岡田（地域支援課）：

今まで、地域支援課と協働センターで整理をしてきましたが、理念と指針は似ているという議論はありました。一番、最初のときは、指針の部分がもっと具体的な取組みが入っていて、それを包括するような形で理念という位置づけでした。指針として「こういうことを目指していこう」という形で抽象的に整理をしてきて、指針が理念に近づいてきた感じはしています。

実際、理念と指針を一つにまとめてしまうという意見はあったんですが、この時点では難しいので、皆さんの意見で修正してもらえればと思います。

## 事務局（鈴木）：

指針を①②③で作った時に各指針に対しての具体的な取組みが下にぶら下がらるというイメージで作成しました。①に対しては、参加・参画、②に対しては意見表明・反映、③については協働という分野で分けています。協働という部分を入れたいという意見もあり、この要素を反映してつくってきているので、理念になるのであれば、そこがしっかり入った上で修正ができればいいかなと思います。

## 土肥（アドバイザー）：

参画宣言としての柱立てというのが「参加・参画」「意見表明・反映」「協働」という3本柱として、事務方で考えてきたので、しっかりと要素を入れて欲しいということですね。

それを踏まえてどうでしょうか。ちなみにそちらの方で意見出していただいたんですけど、そういうあの意図を聞いた上でいかがですか？

### 委員（石川）：

3本柱ということだったんですが、これを見た人は3本柱という認識はしないと思います。協働という言葉が入っていますが、長々と書いてもあまり見た人に刺さらないというか、残らない宣言になってしまうと思っているので、よりすっきりさせた方がいいと考えています。すべてのこども・若者と言っているので、そこでさまざまな人たちと協働して何やっていかなければならないしという意味で「協働」も意味的に入っていると思います。

### 岡田（委員）：

改めて見比べてみて、様々な人と協働して、①と③は協働が入っているかないかの違いで、①と③をくっつけてしまっただけではどうでしょうか。

### 委員（石川）

一緒にすると尚更、理念に近づいてしまっていくような気がするので、それだったら理念に協働を入れた方がいいと思います。「地域に支えられて～」と「協働で～」という部分が近い意味にはなって、地域と協働するという表現がいいのかは分からないのですが。

理念も指針も「～まちをつくります」という語尾になると理念と指針が同じようなことを言っていることになってしまうと思います。指針としては②の1と②の2にすれば、すっきりすると思います。

### 土肥（アドバイザー）：

今頂いたご意見を踏まえると、指針①③を無くして、理念に協働と参加・参画ということを含めて書くということかなと思います。指針自体を②の1と②の2だけにしてしまうということですね。

### 委員（渥美）：

理念をもう少し抽象化させて、指針を具体化すると、スッキリすると思います。理念に関しては、例えば、権利の保障というところで止めてしまえば、抽象化されると思います。指針に関しては柱としての考え方があると思うので、そこを文章して具体的に入れることで理念と指針のバランスが取れると思います。

## グループ討議

### 土肥（アドバイザー）：

まだ、まとまっていなくてもいいので、具体的に提案できるグループはありますか。

### 委員（小杉）：

指針②—1の内容が薄いので、まちづくりに参加・参画と協働の部分を全て突っ込んでしまって、「～まちをつくります」という表現に変えてみはと思いましたがどうでしょうか。

### 土肥（アドバイザー）：

今の提案は、指針の①と③の内容を参加・参画を②の1に入れてしまうという意見ですね。提案いただいた指針①と③自体はやめてしまって。指針②の1を参加参画と協働という要素を入れるっていうご提案に集約をすかなと思います。少し、今までの意見を全体で確認してみましよう。

### 委員（菅野）：

理念のところ「その権利」ではなく、「子ども・若者の権利」とすると繰り返されて、逆に回りくどくなってしまうので、元の理念のままでもいいのではないかと思います。

**若者委員：**

分かりにくいと意見を言ったんですが、分からないわけではないので、元の表現のままでもいいと思います。

**土肥（アドバイザー）：**

以上の提案を踏まえると、理念は語尾の「～つくります」のみを修正するという形ですが、これでよろしいでしょうか。

**岡田（委員）：**

理念の中に協働というキーワードを入れると、指針の①と③を入れると網羅できると思います。

**鈴木（事務局）：**

指針の①と③を消して、②だけにすると意見表明・反映のみが残ってしまって、他の部分は指針として残らなくなってしまうので、理念がそもそも3つの指針が入って表現されているものなのか、指針がなくても参加・参画の取り組みが実施されていくのかという部分に関しては考慮して欲しいと思います。

**土肥（アドバイザー）：**

1つ提案なんですが、指針の①～③をそのままにして（ ）で参加・参画、意見反映、協働を頭に出してしまって、3つの柱であること示すのはどうでしょうか。

**委員（菅野）：**

指針①（参加・参画）のような形で表すのは分かりやすいと思いました。

**委員（石川）：**

高校生がこれを読むのかということもありますし、同じ表現が繰り返されていると思います。例えばじゃあ明日高校生が自分の友達にこれ読んでって誰も読まないと思うんですね。この流れでやっぱり作っただけで終わってしまったのでは、意味もないので、読めるものにしていかないといけないと思います。やっぱり同じ表現が多いので、あえてその3つの柱にこだわって入れないといけないのかということもありますし、すっきりさせていって読んでもらえるものにしていった方がいいと思いました。

**若者委員：**

長い文章は嫌だという気持ちが少しあります。三つの柱というイメージして箇条書きで三つを挙げて、もう少し理念を膨らませればいいと思います。

**若者委員：**

高校生視点からすると、長い文章っていうのは読む気があまりしません。指針の①と③カットして、カットした内容を理念に入れたりとか、逆に理念で要素が多いなっているものを指針の中の柱の中に入れれば、多少膨らむことはあっても、読みやすいすっきりした文章になると思います。

### 若者委員：

読む気が起きるか起きないかという部分ではなくて、意味が伝わるかどうかにか重きを置きたいです。文も削ってしまった時にまた違う解釈が生まれてしまい、誤解が生まれると宣言自体が意味が無くなるとおもいます。確かにコンパクトにして読みやすく意味が一番伝わるのが一番いい形ですが、コンパクトにすることを追求すぎて意味が伝わらないということは避けたいと思っています。

### 若者委員：

高校生が読みにくいと、カットした方がいいという意見もあると思うんですけど、若者版で高校生にも読みやすくするものを作るのであれば、元々ある指針は詳しく書いてもいいんじゃないかなって思います。

### 土肥（アドバイザー）：

ありがとうございます。今日は、もう時間がないので議論尽くせないですが、様々なご意見もあるので、事務方としても、三つの柱は大切にしたいとの意見ですので、全体の宣言としては三つの柱で、立て、指針はこのまま原案通りにするという形にします。その代わり、現在、高校生、大学生が作ってくれている若者版は、もう少し読みやすく、文章をもコンパクトにしてまとめるということで、決を取りたいなと思いますが、皆さんよろしいでしょうか？

### 事務局（鈴木）：

指針の①と③の内容が似てるという指摘に対して、もう少し具体化した方がいいんじゃないかという意見もあったので、事務方の方としては、参加・参画と協働という部分をもう少し具体化させて指針の分三本柱がしっかり出るような形にできたらな、できればなと思っています。

### 委員（小杉）：

指針②—1の部分で、「多様な子ども・若者の声も一緒に届けられるように努めます。」という表現ですが、「多様な」というのを消して欲しいと思います。入れたコンセプトがよく伝わらないと思います。

### 土肥（アドバイザー）：

いろんな子供、最近の子どもの声を反映させたいということなんですけど、多分の指針②—2の方で書いてあるので、指針の②—1の方ではいらんじゃないかという指摘ですね。ここは除く形でよろしいですかね。ここまで皆さんから意見いただき、若者たちの意見を踏まえて。指針①から③については原案通りということに結果としてはさせていただいて、若者版の方は、もう少しコンパクトにまとめるということよろしいでしょうか。

### 若者委員：

指針の②—1の「私たちは、自らの想いや意見を発するとともに、多様な子ども・若者の声も一緒に届けられるように努めます。」という表現で、声を届けづらい子どももいるので、大人が代弁していくこともあるので、「私たちは」の表現にしたと言っていました。この②の1の文章のままだと、「私たちは自らの～」というと、大人を含めて、自らの意見を想いを発するという風に見られてしまうと思います。大人の見解に子ども・若者の意見を添えるだけでも読み取れると思いますがどうでしょうか。

### 事務局（鈴木）：

こちらのミスです。「私たちは」の主語がわからないってところで主語を入れるかどうかみたいな議論があり、「私たち」の中に子ども・若者だけではなくて、大人も入れればいいんじゃないかっていうところで、反映



しようと思ったんですが、確かに自らの思いで書いてあり、大人を含めるっていうと、意図が変わってしまうのでおっしゃる通りかなと思います。

#### 土肥（アドバイザー）：

この自らの前に、「すべての子ども若者が」というふうにする形でいいでしょうか。時間も来てしまっているので、一回、今日いただいた意見を踏まえて、もう一度あの全体の案を作って、協議会開催がもう間に合わないと思うので、最後のメールで確認をするっていうことで、僕の預かりしていただくっていうことでよろしいでしょうか。また、意見募集（パブリックコメント）をやることになっていますので、それも踏まえて最終案ということになるかなと思います。

### 3. 「菊川市こども・わかもの参画宣言」若者版について

#### 土肥（アドバイザー）：

若者版たいぶ大きく修正入ったので、このままもっと作り変えなければいけないと思うので、今日はちょっと議題としては割愛させていただきます。

### 3. 宣言の告知方法の検討

#### 笠原（事務局）：

- ・ 意見募集（パブリックコメント）を実施します。協働センターの SNS および関係者へ宣言への意見募集を約 2 週間ほど行います。
- ・ ニュースリリースやリーフレット作成します。リーフレットは「わかものまちサミット 2023」で配布を考えております。
- ・ ソーシャルメディアを活用して宣言を発信する。また、ウェブサイト、教育機関、NPO、企業との協力ということで、協議会の委員にもお願いするご協力をお願いします。
- ・ メール、ニュースレターなど 市の広報誌など様々な媒体を通じて告知していきます。こちらも意見などがございましたらご連絡ください。

### 4. わかものまちサミット 2023@菊川について

#### 土肥（アドバイザー）：

わかものまちサミット 2023 のチラシを分けさせていただきました。プログラムの中の最後のクロージングセッションで市長から宣言をしていただくというのが全体の流れになっています。このサミットは NPO 法人わかものまちの主催で開催される予定ですが、協議会のメンバーは招待させていただこうと考えております。宣言を発表する場ですので、ご参加いただければと思います。

#### 笠原（事務局）：

みなさん、本日はありがとうございました。わかものまちサミットに関しては、チラシができあっているので、関係者に分けていただければ、ありがたいです。次回の協議会は最終回で 10 月 19 日（木）になります。また、パブリックコメントを実施するにあたって、意識調査やワークショップで関わってくれた高校生や日頃からこども・若者に関わっている方々など、宣言を読んでいただいて、広く意見を募集できるようご協力をお願いします。以上で第 4 回菊川市こども・わかもの参画協議会を終了します。

# 【協議会 様子】

